

# 市長と語ろう地域懇談会 記録

【日時】平成28年11月22日（火）午後6時30分～8時35分  
 【会場】東春地区コミセン  
 【対象地域】春日町・東町  
 【出席者】33人

担当部	意見・要望などの要旨	回答の要旨
建設水道部	<p>金山ダムの関係で、雨が降り始めてから水を放流するときなどは、市と開発局（国）は密接に連携し合っているのか。</p>	<p>【建設水道部長】8月30日に災害対策本部立ち上げた際は、開発局の職員3人にアドバイザーとして来てもらった。また、今回のダムの放水量については、ダムの下流地域が水没しないように配慮した放水量になっていることをご理解いただきたい。ダムがなければ下流の地域は3m程度水位が上がっていたと考えられるので、今後はこうしたダムの効用などもPRするよう開発局（国）に要望していきたい。</p> <p>【市長】8月の台風の時、開発局では金山ダムの放流量を毎分900トンで想定していたところ、幸い500トンの放流となり山部地域は水害を逃れることができたが、南富良野町では空知川の堤防が決壊した。今回、南富良野町では600ミリの降雨があり、こうした状況を開発局は想定していなかったようなので、今後は開発局にさまざまな備えをしてもらうとともに、市民のみなさんには早い段階での災害情報などを周知していきたい。</p>
総務部	<p>本日(11/22)に福島県で地震が発生し、テレビを見ていると多くの人が車で避難したため交通渋滞となり、通常15分の移動が1時間もかかったそうだが、避難する時の移動手段はどうしたら良いか。</p>	<p>【市長】この地域で考えられる災害は十勝岳の噴火であり、現在、高規格道路の建設が進んでいるので、この道路を用いて避難できる状況になると思うが、建設にはもう少し時間がかかる。また、避難するときは徒歩による移動をお願いしているが、多くの人が避難する場合にどのように誘導するかが課題になっている。現在、独居などお年寄りの住宅を地図で分かりやすくしているが、町内会でも高齢者の避難について考えていただき、良い考えがあればお聞かせいただきたい。</p>

<p>総務部</p>	<p>噴火や水害のときに、電気が使えなくなると電話やストーブ、冷蔵庫も家庭では使えなくなるので、電気が喪失したときのことを想定しておくべきではないか。</p>	<p>【総務部長】平成 25 年 10 月の大雪の災害を受けた際に、道路が寸断され、東山地域が孤立し停電した。この教訓を生かし、現在避難所となる各施設には、外部から電源を引けるように整備している。また、布礼別、麓郷、東山、山部地区には各地域に発電機を預けていて、地域の方が自ら発電機を使えるような体制をとっている。今後は、各コミュニティセンターの電源喪失時の対応について検討していきたい。</p>
<p>総務部</p>	<p>電源喪失に備えて、市役所の車をすべてハイブリッドにしたかどうかと、3年前の懇談会でも話題になっていたと思う。災害時には、市役所でハイブリッド車を揃えておけば、現地に車で行くことにより電源確保ができ、ハイブリッド車は 1500 ワットまで使えるので、災害時に家で電気が使えない場合は役に立つと思う。</p>	<p>【総務部長】市役所の公用車は約 70 台あり、毎年 2 台ずつハイブリッド車に入れ替えをしている。</p>
<p>総務部</p>	<p>コミュニティセンターは外部から電気を引けるようになっているのか。</p>	<p>【総務部長】まだ、整備はされていない。</p>
<p>総務部</p>	<p>先日開催された鉄道フォーラムに参加したが、JRの経営者にも聞いてもらいたい内容だったと思うが、鉄道に関する市長の考えを聞きたい。</p>	<p>【市長】まず、鉄道をなくさないということが私の考えである。国鉄が分割民営化して 30 年程度経過した今、東北では年間 400 億円もの利益が上がっている路線もあるようなので、それぞれが合併しても良いと思う。また、これ以上経営できないと決断することにより、国は黙って見ているわけにはいかなくなると思う。この 2 点については、過日、JR北海道の常務が来庁した際にお話をしている。JRにはしっかり腹を持っていただかないと事態は解決しないと感じている。また、北海道に対しては鉄道を守るよう訴えていきたい。市では、JRの利用促進を図るため、</p>

<p>総務部</p>	<p>移住して山部に住んでいるが、鉄道が無くなったらバスに転換する報道もある中、高齢者は車での移動は難しくなってくるので、JRやバスなどのインフラを将来的に必ず残してほしい。</p>	<p>富良野駅のトイレを市が1千万円負担して改修する予定である。今後も市民のみなさんには鉄道を利用してほしい。</p> <p>【市長】鉄道を無くさないというのが基本的な考え方である。そのためには、富良野から新得間までの鉄道を維持管理するために22億円が必要となるが、自治体は負担できないし、JRも自治体が負担できるとは思ってもいない。だからこそ国が鉄道を守っていくべきだと考える。万が一、鉄道が無くなってしまふことになれば、バスなどの交通手段を考えたい。</p> <p>【副市長】JRも鉄道は必要だと認識しているが、国から経営状況などを各自治体に説明するよう言われており、現在動いている状況である。</p>
<p>総務部</p>	<p>山部から富良野にJRで通勤していて、8月の災害後はJRが運休したため代替バスを利用した。もし鉄道が無くなりバスを運行する場合、利用者に配慮した運行時間を設定しなければ、バスを利用する人も少なくなり、結局はバス路線も無くなりかねない。具体的なバスの運行エリアや時間帯などのイメージがあれば教えてほしい。また、観光面を考えると夜の運行も必要となるが、現在鉄道とバスが同じ時間帯で運行している状況もあるので、JR、バス会社、市で調整するなど、効率的に運行できないのか。</p>	<p>【市長】現在、地域で運行経路や時間を決めるコミュニティバスを東山で運行し、山部を経由して富良野まで来ている。布部ではタクシーを用いて実施している。さらに無人駅で廃止が予定されている島ノ下地域についてもタクシーを用いた方法について地域と協議している。仮に鉄道が無くなった場合は、バスを利用していくことが想定されるので、効率的な運行ができるよう努めていきたい。夏の期間は夜も観光客の利用もあることから、今後考えていきたい。</p>
<p>経済部 教育委員会</p>	<p>11月19日の新聞を見ると、富良野駅を出発するJRに100人くらいの高校生が乗っているという記事があった。その子どもたちが卒業して富良野に戻ってきたときの就職先を作してほしい。また、福島県や香川県の子どものいじめも報じられているが、富良野におけるいじめの現状はどうなのか。また、昨年のお懇談会で意見させていただいたコミュニティセンターのトイレ改修及</p>	<p>【市長】就職先については、現在市と商工会議所で企業の実態調査を進めようとしているが、毎年、市内の企業に就職する高校生は20人程度になっている。今後については、確定ではないがホテル関係が3社ほど富良野市に進出しようとする動きがあり、さらに外国資本も興味を示しているため、これらの会社や関連企業などにより、新たな就職先が増えてくることを期待している。ま</p>

び図書館の開館時間の延長について、実施していただいたことにお礼を申し上げます。

た、現在、農林課で進めている農業の6次産業化の取り組みについても引き続き推進しながら、就職先の確保に努めていきたい。

【教育長】図書館の開館時間の延長は、今年度は試行となっているが、今後とも、効率的な業務執行に努めながら、可能な限り利便性を高めていきたい。また、就職先の確保については、現在、小中高でふるさとキャリア教育を実施し、大人になってから富良野に戻って活躍するような人づくりに取り組んでいる。今年5月にアンケート調査を実施したところ、地域の人たちとの関わりが深い子どもほど、地元就職する率が高いことが分かったので、企業実態調査の結果を踏まえながら今後の状況づくりに努めていきたい。いじめについては、全道的に先駆けていじめZERO推進条例を制定し、学校、地域、家庭、教育委員会が協力して取り組んでいる。市内のすべての学校では、いじめを無くすために指針を作成し、いじめの未然防止や早期発見、早期対応などに取り組んでいる。全国的にいじめの認知件数が増加する中、市の状況は昨年39件、今年は56件となっている。平成28年度の「いじめ・ネットトラブル根絶！メッセージコンクール」では富良野小学校の6年生の作品が全道最優秀賞に輝くなど、少しずついじめ問題の打開に向けた成果も現れてきているので、地域においても子どもたちの見守りをお願いしたい。

総務部

職員が自宅に来て健診の案内をしてくれたが、その職員は「自宅を回ることで、市民の一人ひとりの顔を覚えられる」と話していて、素晴らしいと感じた。また、市役所に行ったときには、来庁者を窓口まで案内する職員がいるなど素晴らしい対応も見られるが、顔を合わしても会釈やあいさつもしない職員がいる。お互い嫌な気持ちにならずにコミュニケーションできるようになれば、もっと協働のまちづくりが進んでいくと思う。

【総務部】職員個人の資質に頼ることなく、職員研修を行いながら人材育成に努めていきたい。

教育委員会	就職先について、市内にはとても優秀な企業があるので、学生たちにこうした優秀な企業を訪問してもらい、市内企業のことを知ってもらえるような機会をつくる必要があると思う。	【教育長】機会づくりをしていく。
経済部	富良野駅はエレベーターなど、バリアフリー化にならないのか。	【経済部長】過去に、富良野駅にエレベーターを設置できないかJRと協議した経過があり、その際JRからは1日3千人の乗降客が見込めないとエレベーターの設置はできないとの回答があった。利便性の向上について、ふらの観光協会と対策を協議している。